



中体連八女地区大会終わる。3年生はどんな終わり方をしたでしょうか。

6月29日（金）、7月4日（水）、5日（木）に開催された中体連八女地区大会では、本校の水泳部、バレーボール部、剣道部、野球部、男子卓球部、女子卓球部が、それぞれの会場で学校の代表として他校との勝負に挑みました。

八女地区大会で敗退した部・個人、筑後地区大会まで駒を進めた部・個人と様々な結果でしたが、特に今回の大会を最後に引退した3年生にとっては、自分たちが約2年半続けてきたものが突然終わるとい、なかなか経験できない感覚を味わっているのではないのでしょうか。悔しい人もあれば、ホッとした人や何も感情が沸いてこなかった人もいるかもしれません。いずれにしても部活動に所属し、汗を流し、練習した時間や試合に勝とうと努力した事実は、今後の自分を支えるものであってほしいと思います。

【筑後地区大会に出場する部・個人】

- 〈水泳〉女子 100m 自由形（3位）山田杏奈
- 〈卓球〉男子団体 優勝、女子団体 準優勝
- 個人男子（優勝）古賀友人、（3位）谷川輝（入賞）中尾勝哉、樋口翔、濱崎義己、牛島篤史
- 個人女子（優勝）谷川千尋、（準優勝）平島麻椰



夏休みを迎えるにあたって

本年度になっておよそ3ヶ月半が経ち、それぞれの学年の生徒も「らしく」なってきました。実力テストの推移によりますと、3学年とも学校平均が県の平均を上回っており、全体的には良好な状況です。個別には課題の多い生徒もいますが、なにより多くの生徒に「わかった」「できた」という雰囲気の中で学ばせることができていることを維持していきたいと思います。



部活動で育まれるもの

人は「遊び」から「学び」を経て「仕事」に至るとい生活の質的な変化を行います。「遊び」は何のためにという目的に一切束縛されませんが、「仕事」は、社会生活への貢献に直接つながる活動であり、「世のため人のために」という目的に束縛されています。「学び」はこの中間に位置していて、小さな「何のために」という目的を達成する経験を積ませる時間です。

遊び



学び

小学校	中学校	高等学校
義務教育の終了		

仕事



部活動は、運動部の場合「勝利」というわかりやすい目的をかかげ、そのために汗を流し、先生や仲間と勝つための知恵を絞り、皆で決めた約束を守ってそれまでできなかったことを個人やチームでできるようにしていく営みです。

勝利を得て成功体験を積むことは大きな「学び」ですが、勝利を得なかったとしても、目的達成のために共に努力した仲間の存在や、チームの戦術の中で行った自己犠牲の経験、悔しさを抱えながらも試合に出ている友達を応援する自分の中の葛藤等、そのすべてが「学び」となり得ます。是非本校の部活動で良質の体験をし、将来の「仕事」へつながる考え方や態度を培ってほしいと思います。



生活面については、多少の生徒指導はあるものの、まだ教師や保護者の指導で改善に向かっている状態です。昨年度に引き続き、スクールカウンセラーを小学校に派遣し、同じ目線で児童生徒を理解し、9年間で育てる取組を行っています。



現在の良好な状況を維持発展するためにも、夏休みに生活が乱れないようにしたいものです。特にLINEなどSNSのトラブルは思わぬところで生じ、成長に悪影響を及ぼします。アンテナを敏感にしてお子様を見守ってください。